

# 衆議院内閣委員会ニュース

平成 30.5.9 第 196 回国会第 14 号

5 月 9 日（水）、第 14 回の委員会が開かれました。

## 1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。  
理事 稲富修二君（国民）（理事寺田学君去る 7 日委員辞任につきその補欠）

## 2 内閣の重要政策に関する件、公務員の制度及び給与並びに行政機構に関する件、栄典及び公式制度に関する件、男女共同参画社会の形成の促進に関する件、国民生活の安定及び向上に関する件及び警察に関する件

- ・野田国務大臣、菅国務大臣、牧原厚生労働副大臣、山下雄平内閣府大臣政務官、一宮人事院総裁、更田原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 大河原雅子君（立憲）

- ・福田前財務事務次官のセクハラ行為について、財務省はどのような手順で事実認定及び処分を行ったのか伺いたい。
- ・人事院は各府省庁の幹部職員に対してセクハラ研修を行うべきと考えるが、人事院の見解を伺いたい。
- ・野田国務大臣が「セクハラとはどういうことか、ルールを明確にしないとイケない」と発言した真意について伺いたい。

### 中川正春君（無会）

- ・公文書やセクハラに関する麻生財務大臣の発言について、野田国務大臣はどのように受け止めているか伺いたい。
- ・過去に国家公務員がセクハラで懲戒処分を受けた例がどのくらいあるか人事院に伺いたい。
- ・各府省庁職員以外の者が、各府省庁職員からセクハラを受けた場合、それを訴える機関はあるのか伺いたい。

### 塩川鉄也君（共産）

- ・福田前財務事務次官のセクハラ問題を財務省としてどのように認識しているか伺いたい。
- ・福田前財務事務次官のセクハラ問題に関する麻生財務大臣の一連の発言を踏まえると、麻生財務大臣は、セクハラが重大な人権侵害だという認識が欠落していると考えられるが、菅内閣官房長官、野田国務大臣及び財務省の見解を伺いたい。

- ・麻生財務大臣が、セクハラの被害者を批判するかのような発言をすることは、2 次及び 3 次被害を生むことになると考えるが、野田国務大臣の見解を伺いたい。

### 浦野靖人君（維新）

- ・国会議員においてもセクハラ疑いがある事例があることは、非常に問題であると考えているが、野田国務大臣の所見を伺いたい。

### 玉城デニー君（自由）

- ・厚生労働省が作成している事業主向けのセクシュアルハラスメント対策のパンフレットに記載されている自主点検について、その実施状況をどのように把握しているのか伺いたい。
- ・セクハラ罪という罪はない等の麻生財務大臣の発言はセクハラを容認するかのようで、国民の誤解を招きかねないと考えているが、このような状況についての菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・平成 29 年の刑法改正により、強姦罪等が非親告罪化されているが、セクハラに対するルールに関し、単独の法律による適用の厳格化や罰則規定を設けるなど今後の取組が必要な点について野田国務大臣の見解を伺いたい。

### 稲富修二君（国民）

- ・本年 4 月 27 日に福田前財務事務次官の処分がされた後の 5 月 4 日において、麻生財務大臣は役所に対して迷惑だから処分した旨の発言をしているが、野田国務大臣としては、セクハラ行為が認定されたと認識しているか伺

いたい。

- ・麻生財務大臣は、セクハラ罪という罪はないという旨の発言をしているが、セクハラ行為は内容によっては罪となることがあるのではないか、法務省の見解を伺いたい。
- ・所得税の所得に応じて課税する考え方や女性活躍の観点から、非婚の母についても所得税の寡婦控除の対象にすることを積極的に考えていくべきではないかと考えるが、野田国務大臣の見解を伺いたい。

### 泉田裕彦君（自民）

- ・これまでの災害対応の経験に照らして、現在の災害対応がどの程度進捗しているのか、政府の自己評価について伺いたい。
- ・東電福島原発事故に伴う原子力防災の問題点の検証はどの程度進捗しているのか更田原子力規制委員会委員長の認識を伺いたい。
- ・原子力防災において福島の教訓は既に全て反映したと考えるか、更田原子力規制委員会委員長の認識を伺いたい。

## 3 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第18号）

- ・梶山国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 篠原豪君（立憲）

- ・PFI法が制定されてから約20年経つが、今までどのくらい予算削減の効果があったのか政府に伺いたい。
- ・本改正案で設置されるワンストップ窓口について、外部の中立的な専門機関でなく、内閣総理大臣が一元的に回答することとした理由を梶山国務大臣に伺いたい。
- ・コンセッション事業者の選定プロセスの公平性、透明性及び客観性はどのようにして担保されているか梶山国務大臣に伺いたい。

### 山崎誠君（立憲）

- ・ドイツでは「シュタットベルケ」という地域密着型事業者がエネルギー、生活インフラの整備・運営等を担っていることについて、梶山国務大臣の感想を伺いたい。
- ・既に内閣府においてPFI事業の実務に関する問合せにワンストップで対応する窓口が開設されていることから、本改正案によるワンストップ窓口制度の法制化は不要と考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・PFI事業の組立てに際しては、PFI推進委員会委員等の専門家が十分に関わっていくべきと考えるが、梶山国務大臣の見解を伺いたい。

### 森山浩行君（立憲）

- ・これまで水道事業においてPFIが進まなかったにもかかわらず、本改正案に同事業におけるPFIを促進するための規定が盛り込まれていることについて、梶山国務大臣の見解を伺いたい。
- ・水道事業におけるPFIの推進に当たっては、地元の事業者が事業を担っていくことが望ましいと考えるが、地元の事業者が海外の水道事業者の参入に対抗する方策に

ついて伺いたい。

- ・人口減少、節水の浸透等を踏まえ、公営の水道事業者が事業のダウンサイジングや広域化に取り組んでいる事例について、政府の把握状況及び評価を伺いたい。

### 森田俊和君（国民）

- ・今回の法改正を含め、PPP/PFIを推進していく意義について梶山国務大臣に伺いたい。
- ・「PPP/PFI推進アクションプラン」の事業規模目標について、平成25年版に比べ平成29年版は同期間に倍の目標を掲げているが、この目標は達成可能と考えているのか、政府に伺いたい。
- ・鉄道に関しては今までPFI事業により行われた実績は無いが、今後の見通しについて政府に伺いたい。

### 塩川鉄也君（共産）

- ・PFI事業について、事業数及び契約金額が2010年にかけて大幅に減少した理由について政府の見解を伺いたい。
- ・公共施設等総合管理計画においてPPP/PFIの積極的な活用を推奨しているということにより、政府に伺いたい。
- ・国が自治体に対し督促しないと成り立たないPFI事業について、抜本的に見直す必要があるのではないか、梶山国務大臣の見解を伺いたい。

### 浦野靖人君（維新）

- ・地方自治体がPFI手法導入を検討する際に、損益分岐点等を判断するための支援をする予定の有無について、政府に伺いたい。
- ・PFI事業に係る契約終了時に、収益が出ないことを理

由として契約の更新が行われないことが懸念されるが、  
どういった対策があるのか梶山国務大臣に伺いたい。

- ・水道事業における繰上償還に係る補償金の免除措置が他の事業に波及する懸念があるが、政府の見解を伺いたい。

### **玉城デニー君（自由）**

- ・P F I 方式による事業は大型化する傾向にあると考えられるが、その背景はどのようなものがあるのか梶山国務大臣に伺いたい。
- ・コンセッション事業における公共施設を運営する民間事業者にとって、人口減少や高齢化に対応した一定の範囲での柔軟な料金設定がメリットとされる理由を伺いたい。
- ・コンセッション事業は、民間事業者による自由度の高い運営が可能となり、低廉かつ良好なサービスを利用者が受けられるとする背景及び理由について、政府に伺いたい。